

# 今を未来に

## ちょっと心配なインフルエンザ

先週あたりから、市内でもインフルエンザによる学級閉鎖が出始めました。本校でも金曜日に3年生を中心にインフルエンザ・風邪で欠席者が増えたので、この月曜日を心配していました。実は学校は週のはじめに爆発的に集団感染で欠席者が増えるというパターンがこの時期多いからです。実際、先週の金曜日には5つの小中学校で6学級の学級閉鎖だったのが、昨日の月曜日には10の小中学校で17学級が学級閉鎖、3つの小中学校で3学年が学年閉鎖をしています。この推移から想像すると、今週から来週にかけて四日市市内もインフルエンザの罹患者が爆発的に増える可能性が出てきました。

本校でも昨日、3年生は2学級で9人のお子様が欠席し、内3人のお子様がインフルエンザで欠席でした。先週罹患した子はそろそろ戻って来られそうなので、学級・学年閉鎖にはしませんでした。が、要注意の状況です。教室をのぞいたら、みんなで予防しようとほとんどの子がマスクをしてくれていました。あとは、寒くても換気、給食前の手洗い・うがい、給食は当分の間班にせずに静かに食べるという指導を3年生は続けます。



みんながマスクをしてくれています。

みんなで元気印の3年生に早くもどうう！

今年流行をしているのは香港A型で、胃腸風邪のような症状から始まる人が多いのが特徴とも言われています。おう吐した場合は、「胃腸風邪」と決めつけず、必ずインフルエンザの検査をしてもらってください。また、今はインフルエンザに罹患すると、最低でも5日間の出席停止になります。どうか不要な外出を控え、大勢の人が集まる所に出かける時は、マスクをして行かれるようにしてください。また、ハンカチ・鼻紙・うがい用コップを持ってきていない子が多くいます。一度各家庭で確かめてください。給食時には別のハンカチを持ってくることになっています。

【今日の自分はどうでしたか？】項目の横に○×を記入するように指導しました。

ハンカチ（いつでも使えるように持っていますか）		はな紙（いつでも使えるように持っていますか）	
うがい用コップ（歯磨き用と兼用可）		給食用ハンカチ	
予備のマスク1つ		トイレのスリッパを並べる。	

整理・整頓は病気予防の第1歩

## 抜き打ち避難訓練を行いました。

昨日、休み時間に、予告なしに、避難訓練を行いました。1学期・2学期は地震や火災を想定して、教室から避難する訓練を、先生方と一緒に避難する訓練でした。今回は、休み時間ですから、放送をよく聞き、避難してこなければいけません。子どもたちは、事前に指導は受けましたが、

教室で揃って避難をしてくるようにはできませんでした。特に、運動場で遊んでいた子たちの口は開きっぱなしで、「建物や倒れそうな物から離れる」の指導の意図がうまく伝わらず、運動場の中心に向かって走り出す子どもたちでした。注意を受けるまで、おしゃべりは止まりませんでした。

私（校長）からは、この土日にずっとニュースで流れていた「阪神淡路大震災とその後」の話をしました。まず、この大震災で亡くなられた方の人数の話をしました。「6434」+「3」と伝えました。20年たった今でも行方不明者が3人みえます。尊い命がこんなにも多くなったことを、改めて思い起こせる数だと思います。その人数分の悲しみがあることを忘れてはいけないと思います。

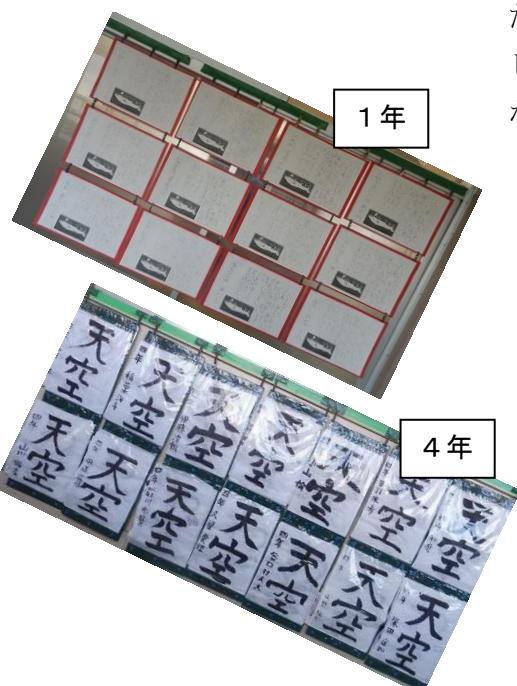
そして、当日の朝自分が何をしたか話しました。私は親子4人でいっしょの部屋に寝ていました。当時の四日市は震度4の記録が残っています。下から突き上げるような感じを受けて、横に寝ていた二人の子ども（当時は1歳と4歳）に布団をかけ、その上に自分の体をかぶせて、必死に守ろうとしたことを覚えています。それだけに、この土日に新聞で読んだ「生まれたばかりで、指をくわえながら亡くなったわが子をこの20年間忘れることなく過ごしてみえたお父さん」の話や「成人して一人暮らしを許したために、神戸で震災にあい、娘を亡くしたお父さん」の話は、同じ年代の父親として、涙が止まらない話であったことを、子どもたちに話しました。

さらに揺れがおさまった後、テレビで見た光景は本当に信じられないものでした。火災が起こり、高速道路の橋脚が折れ、バスが高速道路から落ちそうになり、ビルがそのまま倒れて道路をふさぎ、三宮の駅がつぶれ、線路もぐにゃぐにゃに曲がり、いつまでたっても火災はおさまらない、そんな光景でした。今でも鮮明に覚えています。

この大震災を受けて、建物が倒壊しないように法律もかわり、実は保々小学校の北校舎増築の計画がなくなりました。耐震強度が今ある北校舎では足りず、増築することができなくなってしまったのです。また、各家庭でも水道のレバーの仕組みがかわりました。大震災までは、レバー式の水道は下にレバーを押すと水やお湯が出るようになっていました。その仕組みでは災害時に物が落ちてきた時、貯水してあった水が流れてしまうことから、逆向きになりました。各家庭でも防災・減災にどんな工夫をされているか、子どもたちに話してあげてください。

## 校内書写展始まる（1月19日～1月31日）

冬休みに宿題にして練習をしてきた字を、校内の新年試筆会で書き上げ、各学年・学級の教室前廊下に展示が始まりました。気持ち新たに書いた字は、ひと味もふた味も違うように感じました。学校にお越しいただける機会などに是非ご覧ください。



3年

2年

1年